

省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度
 <ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2019>
 7年連続優秀賞と3年連続特別優秀企業賞のダブル受賞

エコロジーな住まいづくりを推進する住宅情報館株式会社(本社:神奈川県相模原市中央区、代表取締役社長:黒羽秀朗、以下住宅情報館)は、2020年2月28日、一般財団法人日本地域開発センター(主務官庁:国土交通省)による、省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度<ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019>において、7年連続で「優秀賞」を受賞、併せて5年以上連続受賞の企業に授与される特別表彰「特別優秀企業賞」も3年連続で受賞しました。



外観イメージ

<ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019>は、建物外皮とエネルギー設備機器を一体として捉え、①外皮・設備の省エネルギー性能値 ②多様な省エネルギー手法の導入および健康、快適性その他の取り組み③省エネルギー住宅の普及への取り組み、の3つの視点で、省エネルギー性と普及性に優れた住宅を表彰する制度です。



受賞商品	QUAD<クアッド> 太陽光仕様 受賞対象地域:4・5・6地域
受賞名	<ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019> 優秀賞
主催	一般財団法人 日本地域開発センター
表彰日	2020年5月19日

住宅情報館は<ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー>の「優秀賞」を2013年から7年連続で受賞したことにより、5年以上連続受賞の企業に授与される特別表彰「特別優秀企業賞」も3年連続で受賞しました。

【 QUAD<クアッド>太陽光仕様 】の特徴

<パッシブデザイン>

- ・通風を確保し冬の低い日差しを居室に採り入れるバルコニーの「ラインパネル」「シースルーパネル」
- ・夏の強い日差しを遮蔽する「スクリーンルーバー」
- ・「シースルー階段」と「勾配天井」の組み合わせによる風の道の創出

<省エネ設備>

- ・「太陽光発電システム」
- ・「オール電化システム(エコキュート+IH クッキングヒーター)」
- ・断熱性能と採光性を高めた「樹脂サッシ」
- ・消費電力の低減を図る「LED 照明」
- ・水優先吐水機能、小流量吐水機能が付いた「水栓」
- ・温度の低下を抑える「保温浴槽」

<資源の再利用(CO2 の固定化)>

- ・国産木材チップを原料とする「外壁サイディング」
- ・木質資源をリサイクルした「構造用面材」